

養成所ニュース

2026.5 No.36

発行：公益財団法人日本知的障害者福祉協会 社会福祉士養成所 / 〒105-0013 東京都港区浜松町2-7-19 KDX浜松町ビル6F / TEL (03)3438-0984(直通) / FAX (03)3431-1803

第38期生100名が受講スタート!!

社会福祉士を目指す皆さまへ

社会福祉士養成所 所長 樋口 幸雄（日本知的障害者福祉協会 会長）



第38期生の皆様、本養成所へのご入所おめでとうございます。

福祉を取り巻く社会は今、大きな変化の時代を迎えています。人口構造や地域社会の在り方が変化する中で、人々の暮らしや価値観も多様化しており、福祉に求められる役割はますます広がっています。高齢、障害、子ども、生活困窮など、分野を超えて支え合う包括的な支援体制の構築が進められる中で、社会福祉士には人々の暮らしを支える専門職として大きな期待が寄せられています。

現在、厚生労働省社会保障審議会福祉部会では、高齢・障害・生活困窮・子どもの四分野を横断した、今後の福祉サービス提供体制についての議論が進められています。社会福祉士は、専門的知識と実践力をもって、人々の生活課題に寄り添い、地域社会を支える役割期待に応えることができる存在といえます。部会において当協会からは、多様化する相談ニーズに対応する相談支援専門員には社会福祉士の資格取得を推奨すべきであると提案を行いました。

福祉の仕事は、出生前から老年期に至るまで、その人生に寄り添い続ける営みです。そして、一人ひとりの人権を尊重し、その人らしい暮らしの実現を支える実践でもあります。幸福のかたちは人それぞれ異なり、望む暮らしもまた十人十色です。その人

が思い描く生活や人生に耳を傾け、ともに考え、その人に合った方法を見出していくことこそ、対人援助職としての専門性であるといえます。

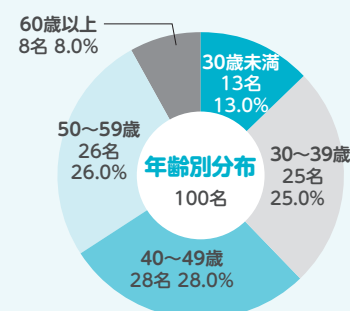
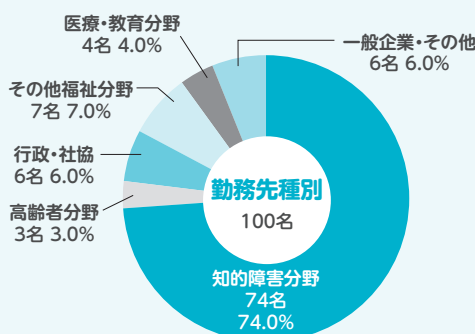
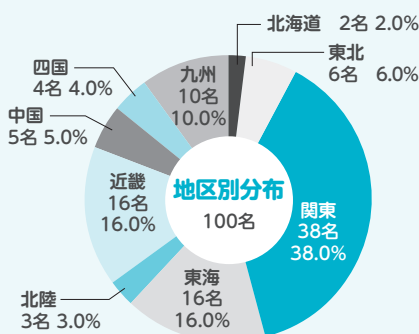
また、「豊かさとは何か」を考えるためには、物事を多面的に捉える視点が欠かせません。支援現場における優れた実践や最新の学術的知見に学ぶことだけでなく、福祉制度の変遷、社会経済の動向、地域コミュニティの変化など、社会全体への理解を深めることも大切です。幅広い視点を持つことで、一人ひとりの暮らしをより深く理解し、より良い支援へとつなげることができます。

専門領域への深い探究心と、社会全体を見渡す広い視野を併せ持つ人は、これからの時代においても、相手の心に寄り添いながら、より良い福祉実践を築いていくことができます。

本養成所での学びは、資格取得のためだけではなく、人と社会を理解し、自らの実践を深めていく大切な時間でもあります。学ぼうとする人にこそ、実るものがあります。皆様が多く仲間と出会い、学びを重ねながら、それぞれの福祉実践を育んでいかれることを心より願っております。共に学んでまいりましょう。

第38期生の概要（令和8年5月現在）

第38期生社会福祉士養成所の受講生は、100名です。概要は下記の通りです。



運営状況（過去3年間）

| 年度（期生） | 応募者数 | 入学者数 | 修了者数 |
|-------------|------|------|------|
| 令和6年度（36期生） | 132名 | 124名 | 121名 |
| 令和7年度（37期生） | 88名 | 85名 | — |
| 令和8年度（38期生） | 104名 | 100名 | — |

第38回社会福祉士国家試験において本養成所より168名（うち7年度修了者76名）が合格しました。前年度（第37回試験）は179名（うち6年度修了者78名）でした。

これまでの国家試験の結果

| | 受験者数(人) | 合格者数(人) | 合格率(%) |
|------------|-----------|---------|--------|
| 第36回試験 | 34,539 | 20,050 | 58.1 |
| 第37回試験 | 27,616 | 15,561 | 56.3 |
| 第38回試験 | 24,530 | 15,438 | 60.7 |
| 第1回試験からの合計 | 1,106,334 | 342,045 | 30.9 |

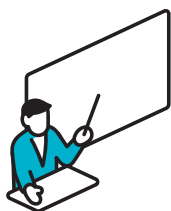
本養成所修了者の国家試験の結果

| | 総数 | | 新卒 | |
|--------------------|--------|--------|--------|--------|
| | 合格者(人) | 受験者(人) | 合格者(人) | 合格率(%) |
| 第36回試験 (34期卒業生) | 278 | 141 | 101 | 71.6 |
| 第37回試験 (35期卒業生) | 179 | 118 | 78 | 66.1 |
| 第38回試験 (36期卒業生) | 168 | 114 | 76 | 66.7 |

第39回社会福祉士国家試験の概要 予定

- ① 試験日 : 令和9年2月上旬
- ② 受験手数料 : 19,370円(昨年度額)
- ③ 受付(提出期間) : 令和8年9月上旬から10月上旬

※詳細は、社会福祉振興・試験センターのホームページ (<http://www.sssc.or.jp/>) をご参照ください。



From Teacher

—科目担当教員から

「自己責任」と「自業自得」は本当か

長谷川 洋昭 田園調布学園大学子ども教育学部 教授 「刑事司法と福祉」担当



現代の日本社会は、「自己責任」という言葉があらゆる場面において幅を利かせているような気がします。その中においても、犯罪をした人が社会復帰を目指す際に困難に直面した場合、「自己責任」の言葉はさらに「自業自得」といった言葉も引き連れながら彼らに容赦なく降り注ぐことでしょう。過去から現在に至る彼らの「困難」の実際が、社会の多くの人にとっては視覚化されにくいのです。

例えば、高齢者・障害者・妊産婦・子ども・外国人などの場合、「私もそうだった」「私もそうなるだろう(かもしれない)」と、彼らの困難は比較的イメージはしやすいかもしれません。これは私たちが「当事者意識」が持てるからだと考えます。しかし犯罪者や非行少年の場合は「私は犯罪者にはならない」と彼らの困難は想像しにくくなります。これがこの科目を学ぶ上でのハードルかも知れません。

洋の東西を問わず、「犯罪」を取り扱うニュースやエピソードは、確かに人々の耳目を集めます。名探偵が犯人を突き止める推理小説、刑事が犯人を追いつめるテレビドラマ、「これにて一件落着」とキメるお奉行様。しかし、これらは捕まった犯人の「その後」は描かれていないものが大半です。また現実社会でも、事件の概要や裁判・判決については必要か疑わしいプライバシーの暴

露も含んで詳細に報じられるものの、犯人の「その後」はほとんど知りえることはありません。しかし刑事司法の手続きで決まった処分が終了しても、人の生活は、営々と続いていきます。罪を犯した人の生活暦を辿ると、「貧困」「無知」「疾病(これは高齢含む)」などといった、いわゆる支援を必要とする要素が示されることが多々あることは私たちは良く知っています。もしどこかの段階で周囲の誰かが彼の困難に気づき、誰かが声をかけたり手を差し伸べていたならば、もしかしたら彼は罪を犯していなかったかも知れません。この分野についての学びを深めることは、様々な網の目からこぼれ落ちた人々の存在を認識することにもつながるといえます。

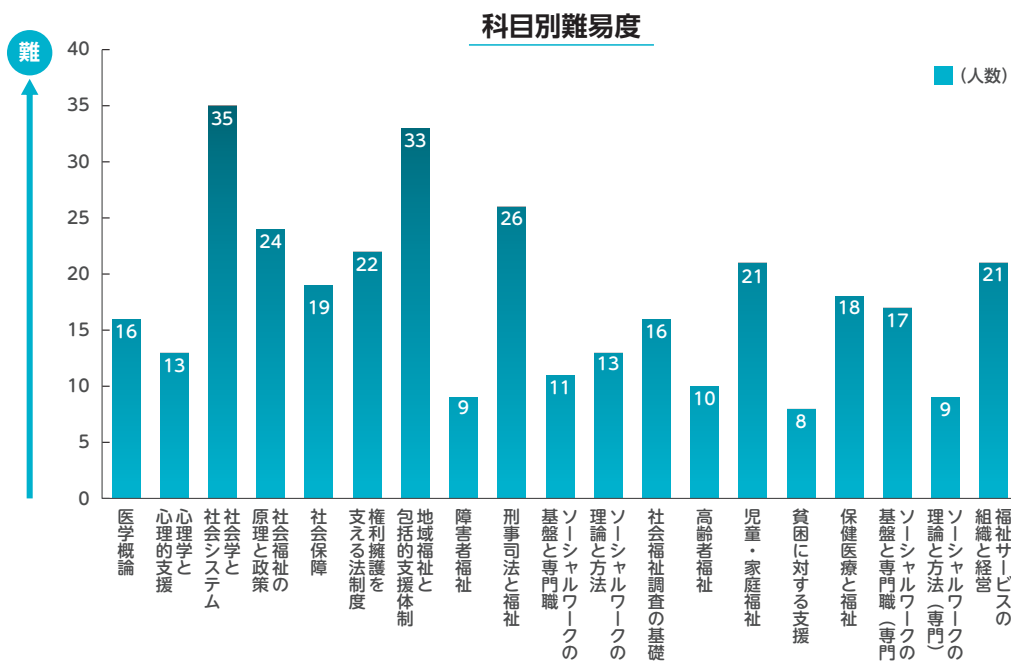
決して難しいことはありません。様々なフォーマルインフォーマルの制度や繋がりを使いながら、全ての人々の存在を「想定外」のものとして寄り添うことで、結果として犯罪に至らなかった、ことが理想です。結果として、仮に犯罪を犯してしまっても、寄り添い支援することで「結果として」再犯しなくなった、ことが理想です。

全ての人々のお力になれるよう、私たち自身が地域に立脚し、どれだけネットワークを構築できているのか楽しみながら再確認してみたいものです。ともに頑張りましょう。

令和7年10月に修了した第36期生121名を調査対象とし、99名(①受験をした94名②申込みをしたが当日受験しなかった3名③申込みをしなかった2名)からの回答が得られました。

図は受験者の回答をもとに難易度(難しいと答えた人数)を示しています。

※厚生労働省への報告のため、現在もアンケートは回収をしていますので、未提出の方は早急に提出してください。



先輩からのメッセージ



合格した方からのコメント

時間の確保

- ◆ 勤務日は疲れるが1日10分でも30分でも取り組みを継続し、休日に3~4時間勉強した。早朝の1~2時間は集中できる。
- ◆ 1年目はレポート集中でよいが、スクーリングを終えてからでは遅かった。

少しでも日々継続

隙間時間ながら勉強

- ◆ 300時間は必要と聞かすが、知らないことが多くその倍は勉強した。
- ◆ 隙間時間には受験アプリ、家事時間には対策動画を流し続けた。

使ったツール

過去問解説集、受験参考書、模擬問題集、テキスト、模擬試験(付録含む)、中央法規DMの学習スケジュール表、N無料学習YouTube、無料過去問サイト、受験アプリ、自身の整理ノート、養成所の受験対講座(メルマガ・国家試験キーワードチェック・頻出項目チェックテスト)など

- ◆ 効率を考えるなら、傾向を研究している対策ツールを見極めること。
- ◆ 過去問や模擬問題は、問題と解説がセットになっている本がおすすめ。

早く自分に合ったツールを見つけよう

学習方法の工夫

- ◆ 過去問を解いているだけでは役に立たない。解説を読み参考書と付き合わせることで、間違いの選択肢のどこを直せば正解になるかを考えることで、知識が定着し効率も上がる。長文読解の感覚もつかめる。
- ◆ レポート作成でも、幅広い関連事項でのAIやネット検索を習慣づけた。

- ◆ 時事問題対策として、福祉新聞や一般紙で新制度や法改正、白書や各種統計についてアンテナを張ること。そして、常識や一般教養も大事。

- ◆ 時間がなかったため、テキストの学術的かつ基本的な知識の確認と、文章題の読解力と判断の速さを上げることを重点的に行った。

- ◆ 1問にかけられる時間を常に意識して勉強したことで、長文対策になった。

- ◆ 社会福祉士に求められていることを中心に、試験を行う側としてどのような回答を求めているかを考えながら問題に取り組んだ。

- ◆ 実践的に学べる環境に身を置くこと、業務の不明点を日々調べて理解すること、合格するだけの暗記勉強よりはるかに将来の自分に役立つ。

- ◆ 基礎知識を前提にその応用力や実践力が問われたが、原理原則が理解できていることが重要。根拠のある日々の実践が役に立つ。

気持ちの支え

- ◆ 択二問題は、一つは正解するが、二つめを正解するにはどれだけ学んでいるかが分かれ目だった。

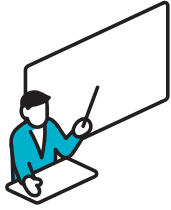
- ◆ 自分で頑張ったと思えるくらい勉強をすれば、最後は気持ち次第だと思う。



残念ながら合格できなかった方からのコメント

- ◆ 当日は難問・奇問や問われ方の変化が多く、気持ちが高ぶってしまった。

- ◆ 過去問をただ解くだけでは対策にならない。理解することが必要だし、問題傾向が変わり模擬問題、模擬試験、受験対策が必要と実感した。



The Teacher's Column

—専任教員から

実践が制度をも動かす

木伏 正有 社会福祉士 登録第 99609 号



第38期生の皆さん、入学おめでとうございます。多くの皆さんに入学していただき大変うれしく思います。社会福祉士資格取得という熱い想いを胸に、これから学びを進めていきましょう。仕事や家事を行いながらの道のは、決して楽なものではないと思います。確実に昨日までと違う生活になるはずです。学ぶ時間を、どこどのように作り出すのか、この時期に考えていただけたらと思います。短時間でも確保し続けることで未来が切り拓けることを、先輩たちは教えてくれています。

皆さんには、出願時に小論文として、最近の社会福祉の動向から様々な課題を取り上げ社会福祉士の役割を述べていただきました。中でも、「地域共生社会の構築」は多くの方が取り上げていました。皆さんも仕事や報道等から、社会において多様で複雑な課題が多くなっていると感じているのだと読み取りました。今や一人の支援者、一つの支援機関だけで課題解決を図ることはとても難しくなっています。皆さんが述べたように、社会福祉士には制度横断的な課題対応のための協働や必要な社会資源の開発、地域住民の活動支援、関係者との連絡調整といった役割が期待されているのです。

もうひとつ、「意思決定支援」についても多くの方が取り上げていました。今までも、利用者を尊重するために「意思決定支援」は重要だと述べる小論文は多くありました。今回特に感じたのは、単に原理原則を述べるだけでなく、実践の積み重ねから具体的な支援の工夫や支援上のジレンマを述べている方が多くいたことです。皆さんの現場での実践が、確実に進んでいることを感じました。

この度、成年後見人制度を含む民法改正案が閣議決定され、今国会での成立を目指し衆院に提出されました。重要な改正点のひとつが、本人の「意向の尊重及び身上の配慮」義務です。意思決定支援という言葉は使われていませんが、本人に対しての「情報提供」や「意向を把握」及び「意向を尊重」や「心身の状態及び生活の状況に配慮」しなければならないことが案に書き込まれています。

利用者の意思決定を取り巻く課題は、個人や家族だけでなく、所属する組織や地域の状況、自治体や国の制度や施策などが相互に影響し合う中で生じています。皆さんには、目の前の課題に取り組みつつ、学びを通してその背景を考察していただけたらと思います。そのためには、社会情勢にアンテナを張ることも重要です。皆さんの実践が社会の状況と相互に影響し合い、制度をも動かすことがあります。この養成所ニュースが皆さんの元に届く頃には、「26年ぶりの大改正」と報道されているかもしれません。

第37期生の皆さんには、昨年の養成所ニュースで、「時間を作り出すこと」を伝え、隙間時間を書き出して勉強時間に充てることを提案しました。1年間どのように歩んできましたか。テキスト学習も5学期に入りました。受験勉強を意識しポイントを掴んだうえで、レポート課題に取り組んでください。レポートを作成したら、いよいよ受験勉強に切り替えていきます。一緒にゴールを駆け抜けましょう。

*参考文献

- ・法務省「民法（成年後見等関係）等の改正に関する要綱案」
<https://www.moj.go.jp/content/001456650.pdf>
2026年5月11日取得

養成所ニュースプラス+

公益財団法人日本知的障害者福祉協会 社会福祉士養成所

「養成所ニュースプラス」は、登録されたメールアドレスに随時、養成所からのお知らせや受験に関する情報、過去の国家試験問題と解説等^{*}をお届けするメールマガジン（無料）です。通勤・通学や普段の学習の合間に、受験勉強の“きっかけ”としてご利用ください。登録に関してはホームページをご覧ください。



社会福祉士養成所ホームページURL <http://www.aigo.or.jp/yoseijo/>

二次元コード



令和8年度スクーリング日程

| | 37期生スクーリングⅡ | 38期生スクーリングⅠ |
|---------|---------------------|---------------------|
| 東京会場A日程 | 令和8年7月24日（金）～26日（日） | |
| 東京会場B日程 | 令和8年8月21日（金）～23日（日） | |
| 大阪会場 | 令和8年8月9日（日）～11日（火祝） | |
| 福岡会場 | — | 令和8年7月11日（土）～13日（月） |

国家試験にむけてのおすすめ図書

- ・週刊福祉新聞（福祉新聞社）
- ・福祉小六法（中央法規出版、ミネルヴァ書房）
- ・社会福祉用語辞典（中央法規出版、ミネルヴァ書房）
- ・社会福祉士過去問解説集、社会福祉士国家試験受験ワークブック共通科目編／専門科目編、模擬問題集（中央法規出版）
- ・社会福祉士国家試験のためのレビューブック、クエスチョン・バンク社会福祉士国家試験問題解説（メディックメディア） 他